

させる提案を行う。Tカード加盟のFC店舗に加え、地場商店や市主催行事やボランティア参加でポイントを貯める。これを加盟店舗に加え、公共施設利用料としても使う。この循環システムを地域循環活性化へつなげよう。

A

今までにない非常にユニークな新しい発想である。全国的にも例はないと思う。これからは多様性があるものでなければ勝負できないと思う。個人情報の問題などクリアすべき課題はあるが、貴重な提案として、早速内部で検討に入ろうと思っている。

### エクストリーム系でポーター場のイメチェンを

園田 裕史議員

Q

競艇場でのバイクポロ大会の開催を提案する。これを機にBMX、スケボー、フリークライミング等のエクストリームスポーツにDJを組み合わせるなど、若年層をターゲットにしたイベント企画を継続すること、さらにはタレントイベントに関して、中心市街地とシエアすることにより市内全体の活性化へつなげよう。

A

競艇場に若者を来場させたいと考えており、若者にターゲットを当てたエクストリームイベントには魅力を感じている。積極的に取り組んでいきたい。

### 九州新幹線西九州ルートの変更に伴う対応は

三浦 正司議員

Q

竹松・福重地区の新幹線の保守基地から車両基地への規模・機能変更に伴う問題点、それに対する対策、処置は考えているか。この変更により景観の大規模変容、町内会の分断などが予想されるが「まちづくり」の検討と業務内容の拡大による従事者居住者の増加、企業誘致、雇用などの対策は検討しているか。

A

車両基地への変更については詳細が明確になっていない。道路、排水路等に課題があるが、地域住民の利便性、安全性について関係者と協議し対応していく。まちづくりについては、関係する町内会等と協議し対応したい。居住者対策、関連企業の誘致、雇用などについても、今後情報を収集し、対応していきたい。

### 「絆」の象徴 愛犬「華丸(はなまる)」

神近 寛議員

Q

国指定史跡本経寺の大村家墓石群の一角に愛犬「華丸(はなまる)」の墓がある。史実として日本最古の犬の墓と言われている。飼主と犬の絆を顕彰するこの墓は世界的にも破格の扱いであることから、市として「動物愛護発祥の地・大村」等のアピールにより歴史観光に活かしてはいかがかと提案する。

A

東日本大震災から「絆」という言葉をよく耳にするようになった。また、近年のペットブームの背景もある。発祥の地を持つことは情報発信の大きな武器と思う。華丸の墓を動物と人の絆の聖地として大村から観光情報を発信できるよう取り組んでみたい。

### 消費税増税が競艇事業に与える影響について

水上 亨議員

Q

競艇事業は数年の間、企業努力により収益を一般会計へ繰り入れ、こども夢基金等福祉施策に寄与しているが、さきの国

会では消費税増税法案が可決成立し、平成26年に8%、平成27年に10%に引き上げられることによる消費の落ち込みなどの影響が大きいと思う。これまでのように収益を確保し一般会計へ繰り入れることができるか。

A

大村競艇が納めている消費税は、平成23年度ベースで2億5,600万円である。消費税増税が収益に及ぼす影響は、平成23年度の純益が5億4,200万円であるが、これが消費税10%の場合、純益が2億8,600万円へ減収することになる。今後、検討していく必要がある。

### 省エネ時代、市の小水力発電に対する対応は

前川 與議員

Q

昨年の原発震災により全国的な省エネルギー対策が叫ばれている現状である。既存のエネルギー活用としての水力・風力・太陽光発電のほかに新たに水稲栽培に利用する水路の河川水落差による小水力発電装置の活用が全国的に話題になっているが、本市としても郡川水系で早急に数箇所でも設置する計画はないか。